



明治学院大学 2012 公開シンポジウム

主催 国際学部附属研究所

後援 戸塚区役所

明治学院大学国際学部附属研究所は、11月に開催した4回の公開セミナー『アラブの春』を考えるの「まとめ」と同時に区民・学生にアラブ世界の今日の状況を理解してもらい、日本の問題として考えるきっかけを提供する無料のシンポジウムを開催します。

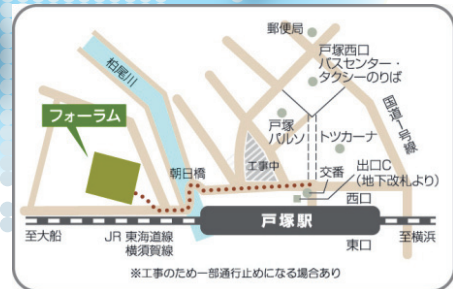
2012年度公開シンポジウム

これからの日本とアラブ (中東/西アジア)

2010年末にチュニジアから始まったいわゆる「アラブの春」は、新しい中東の誕生を予感させつつも、現在、試行錯誤を繰り返しています。この潮流について、11月に開催した4回のセミナーを通して私たちは多様な角度から考えてきました。それをふまえて、日本とアラブ(中東/西アジア)のこれからの考えます。

日時 2012年12月7日(金)
14:00~18:00 (開場 13:30)

会場 男女共同参画センター横浜
1階ホール (定員 300名)
JR・横浜市営地下鉄戸塚駅西口 徒歩5分



- 無料、事前申し込み不要です。直接会場にお越しください。
- 公共交通機関をご利用ください。

◆プログラム◆

- 14:00-14:15 開会の辞
 14:15-14:45 基調講演 **大川 玲子** (明治学院大学准教授)
 14:45-16:30 報告
 ホサム・ダルウィッシュ (ジェトロ・アジア経済研究所研究員)
 アブドラー・アルモーメン
 (東海大学講師、サウジアラビア王国大使館文化部)
 アミル・バフラム・アラブ・アフマディ (テヘラン大学准教授)
 16:30-16:40 休憩
 16:40-17:30 パネリストによる全体ディスカッション
 17:30-17:50 質疑応答
 17:50-18:00 閉会の辞